

第7回地域復興マッチング「結の場」(南相馬市)の開催について

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路などを幅広く提供する支援事業の形成の場として、「地域復興マッチング『結の場』」を実施しています。

今般、第7回目となる「結の場」を以下のとおり開催いたします。

1. 日時・場所

日時:平成26年12月9日(火) 13:30~17:55

場所:ロイヤルホテル丸屋(南相馬市原町区旭町2-28)

2. 主催

復興庁福島復興局、原町商工会議所、鹿島商工会、小高商工会

3. 参加企業(五十音順)

【被災地域企業:8社】(すべて金属加工業)

1	アズビル金門原町(株)	5	(有)サンコーエンジニア
2	(資)江井鑄造所	6	東北精工(株)
3	(有)協栄精機	7	(有)東北大成
4	(有)コワタコーポレーション	8	(株)原町エンジニアリング

【支援提案企業等:27社】 ※初参加の企業・団体

1	(株)IHI ※	10	日本郵便(株) ※	19	富士ゼロックス(株) ※
2	SCSK(株)	11	(株)乃村工藝社 ※	20	(株)富士通マーケティング
3	王子コンテナ(株) ※	12	パナソニック(株)	21	三井住友海上火災保険(株)
4	(株)コトブキ	13	東日本電信電話(株) ※	22	(株)ミツトヨ
5	積水化学工業(株)	14	東日本旅客鉄道(株) ※	23	(株)LIXIL ※
6	テルモ(株)	15	日立アプライアンス(株) ※	24	Google イノベーション東北 ※
7	(株)電通東日本	16	(株)日立製作所 ※	25	(一財)東京顕微鏡院
8	(株)東邦銀行	17	(株)日立産機システム ※	26	国立大学法人 東北大学
9	TOTO(株) ※	18	福島交通(株)	27	国立大学法人 福島大学

4. 取材

- ・カメラ撮り可

- ・当日の取材を希望される社(者)は、社名、取材代表者氏名、カメラ撮り希望の有無(有の場合はスチールかムービーの別)を、復興庁企業連携推進室(kigyorenkeisuishinshitsu@cas.go.jp)まで事前登録をお願いいたします。

<登録締切:12月8日(月)17時まで>

5. 過去のワークショップ開催の様子



(本件に関するお問い合わせ先)

復興庁 企業連携推進室 麻岡、中村、皆藤 (TEL : 03-5545-7365)

第 7 回地域復興マッチング「結^{ゆい}の場^ば」(南相馬市)プログラム(案)

日 時：平成 26 年 12 月 9 日（火）13:30～

場 所：ロイヤルホテル丸屋

【第 1 部】 福島^{ふくしま}の復興に向けた対話（13：30～17：55）

1. 開会
2. 挨拶
3. 来賓紹介
4. 地域復興マッチング「結の場」について
 - ・「結の場」の概要及び進め方の説明
5. ワークショップ
 - ・課題解決に向けた対話・議論
6. 今後のスケジュールについて
7. 閉会

【第 2 部】 交流会（18：00～19：00）

※当日の午前中、支援提案企業の希望者を対象に、被災地域及び被災地域企業への見学を予定しております。

地域復興マッチング『結の場』の実績と成果

ワークショップ開催実績

- ・平成24～25年度に岩手、宮城、福島で6回開催。
- ・被災地域企業49社、支援企業延べ160社参加。

開催日	開催場所	地域企業	支援企業
H24.11.28	宮城県石巻市	13社	35社
H25.2.13	宮城県気仙沼市	10社	33社
H25.11.7	宮城県南三陸町	6社	21社
H25.12.4	宮城県亘理町・山元町	6社	19社
H26.1.29	岩手県宮古市	6社	26社
H26.2.6	福島県福島市	8社	26社

これまでの主な成果例

地域資源のブランド化を支援(宮城県気仙沼市)

【被災地域企業】

中華高橋水産/ムラタ/石渡商店/福寿水産/
カネヒデ吉田商店/高橋水産/村芳特殊水産/
三陸鮫類

【支援提案企業】

アサヒグループホールディングス/NTTドコモ/
丹青社/大日本印刷/電通東日本/Yahoo! JAPAN

×

- 気仙沼の地域資源であるサメ肉の高付加価値化や地域のブランド化を目指し、新商品開発やPR活動に協力して取り組んでいる。
- 都内で「サメ肉を使った中国料理コンクール」を開催するなど創造的な活動も継続的に取り組んでいる。



PR活動の一環で、サメ肉の料理コンクールを開催(写真は受賞作品)。

社員食堂で被災地食材を使った支援メニューを提供(宮城県気仙沼市)

【被災地域企業】

阿部長商店

【支援提案企業】

三井不動産

×

- 被災地域食材の消費拡大を図るため、大手企業の社員食堂のランチメニューを、被災地域企業と大手企業で共同開発。
- 試験販売を通じて、常設メニュー化。提供する社員食堂も、都内5カ所に拡大するとともに、関連メニューも2種類から4種類へ拡充した。



「結の場井」として、社員食堂における常設メニュー化し、提供中。

PR活動支援によるブランド力・情報発信力を向上(宮城県亘理町)

【被災地域企業】

山田屋

【支援提案企業】

広友ホールディングス/大日本印刷

×

- 伝えづらい味噌のこだわりを表現するため、「まんが」のパンフレットを作成し、新聞の折り込みで配布。その結果、消費者の理解が深まり、売上が前年比で約10%増加。
- 仙台駅の大型デジタルサイネージ「i-ステーション仙台」にて、同パンフレットを活用した広告を掲載。



味噌の製法など、自社のこだわりを分かりやすく表現したまんがのパンフレット(表紙)。